

# 「今だから聞きたいリハビリテーション」

## 開催報告

平成27年6月13(土)に第16回刈谷連携キャンパスを開催いたしました。医療介護に限定せず、保健や福祉分野の方とも連携を深め、共に学習したいという思いを込め、刈谷地域リハケアネットワーク作りの会から、刈谷連携キャンパスと名称を変更しました(略語はKRCと変わりません)。

今回は「今だから聞きたいリハビリテーション」と題し、リハビリテーション専門医、理学療法士、作業療法士の3人が講義をしました。



医療でのリハビリテーションについては、薬と同じように適応・適量があり、医師の指示の下行っていることをお話いただきました。また急性期から生活期までのリハビリテーションの内容、介護保険下での生活行為向上リハビリテーション実施加算についての話もありました。リハビリテーションは目的でなく手段であり、いつ

もその人らしい生活を見据えた関わりを重視しています。

リハビリテーションという言葉がさまざまな場面で使われるようになり、それぞれの思いの混じった言葉に変容しつつある中、本来のリハビリテーションを再確認していただけたのではないのでしょうか。

今後も、地域のニーズに合わせた情報の発信と、連携の強化を目的に活動を進めてまいります。よろしくお願いいたします。

リハビリテーション科  
作業療法士 早川 淳子